

駅周辺商店によるおもてなしWG（おもてなしWG）検討状況について

◆WG会議開催

第1回 9月20日（木）13:30～15:30

第2回 10月22日（水）13:30～15:30

※同日、EV等の試乗会および外宮参道の視察を実施。

第3回 11月26日（水）13:30～15:30

◆会議の略称

おもてなしWG

◆会議の代表者

代表： 筒井琢磨（皇學館大学 現代日本社会学部教授）

代表代行： 柴原尚希（名古屋大学大学院 環境学研究科助教）

◆検討の概要

第1回：

- ・ 今年度の検討内容について確認し、目標についてメンバーで共有した。
- ・ また、検討の開始にあたり、外宮参道を取り巻く現状や、議論の対象となり得るEV等の情報共有を行った。
- ・ その上で、各メンバーが、本WGに対する認識や取組アイデアについて自由に発言いただいた。

第2回：

＜EV等の試乗会および外宮参道の視察＞

- ・ 試乗会には、三菱自動車より、乗用車タイプとミニバンタイプのi-MiVEを1台ずつと、HONDAより電動カートのモンパル1台の提供を受けて、メーカーからの車両紹介と試乗会を実施した。
- ・ 試乗会には、鈴木健一伊勢市長の参加も頂いた。
- ・ 試乗会では、それぞれの特徴について把握するとともに、留意点についても説明を受けた。特に電動カート・モンパルについては、利用前の十分な利用者講習や安全管理体制の構築の必要性などについて、説明を受けた。
- ・ 外宮参道の視察にあたっては、おもてなしWGのメンバーでもある外宮参道発展会の山本氏に解説をお願いし、外宮参道の現状や最近の活動状況、今後の開発見通しなどについて説明を受けた。

＜議事：おもてなしWGの検討範囲の決定＞

- ・ 第2回WGは、試乗会や参道視察により得られた知見をもとに、主に、おもてなしWGの検討範囲について議論を行った。

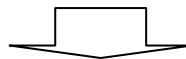
- ・ 具体的には、当初より想定されていた「電動カートを活用できる環境づくり」（E V等の自動車利用）と「路上等におけるE V等展示の実施方法の検討」の2つの活動案について、具体的な検討に進むべきか、あるいは検討を断念すべきかについて、議論を行った。
- ・ 「電動カートを活用できる環境づくり」については、外宮参道の道路事情が必ずしも電動カート等の利用に適さないことや、利用者講習や安全確保のための体制構築が困難なことから、本WGでの検討対象から外すこととなった。
- ・ 一方で、「路上等におけるE V等展示の実施方法の検討」については、第3回検討会以降で具体的な内容の検討を進めることとした。
- ・ なお、これらの議論を受けて、おもてなしWGの活動内容は以下の通り修正することとなった。

【おもてなしWGの検討内容（当初案）】

イ）駅周辺商店街によるおもてなしの検討WG

駅周辺商店街の活性化とともに、高齢者の観光及び買い物時のE V等の利用について検討する。また、E V等を電源として活用している姿を見せ、E V等の使い方の提案方法を検討する。

- ・ 電動カートを活用できる環境づくりの検討
- ・ 路上等におけるE V等展示の実施方法の検討 等



【おもてなしWGの検討内容（第2回WG終了後）】

イ）駅周辺商店街によるおもてなしの検討WG

E V等を活用している姿を多くの方に見せることにより、外宮参道利用者をもてなす方法の検討を行う。

具体的には、E V等を電源として活用している姿を見せる方法について検討する。

第3回：

<議事：取組内容の大枠の決定、取組推進上の必須要件・課題の整理>

- ・ 第3回WGでは、各メンバーから持ち寄られた「おもてなし活動案」をもとに、以下の手順で取組内容の大枠と、取組推進上の検討事項等について議論を行った。

<第3回WGの議論の流れ>

- ・ 目標及びこれまでの検討事項の確認
- ・ 各参加者からのご提案内容の共有
- ↓
- ・ 取組内容の検討+大枠（実施場所および活動概要）の決定
- ↓
- ・ 活動を実現する上での必須要件・課題の検討
- ↓
- ・ 関係者への確認等が必要な事項の整理
（法制度面、土地所有者・管理者との調整、WG参加者以外の必須参加者への意向確認、機材・材料等の調達など）

- ・ 議論では、EV等の意義について、「環境に優しい（CO2の排出量削減）」「非常用電源」の2点が抽出され、それらの理解を含められる活動案の検討が必要であるとの認識で一致した。
- ・ 一方、伊勢神宮(外宮)には、「自給自足」「環境との共生」という特色の他、食の神様などの特色があり、取組の中で、これらを有機的に組み合わせることが必要であるとの認識も共有された。
- ・ 具体的には、食べ物の調理・加温、お茶の加温、照明の点灯、テレビやオーディオなどの電源利用、携帯電話等の電源提供などの活動、アイデアコンテストなどのイベント実施が、EV等の「非常用電源」利用の啓発と結びつけて進められ得るとの議論がなされた。
- ・ 「環境にやさしい」という側面については、地元食材を利用した地産地消型の食事・お茶提供のほか、「自給自足」や「環境との共生」のコンセプトに通じる外宮紹介動画の放映、パネル展示、外宮前におけるEV展示や外宮から内宮へのEV等を用いた移動手段提供（ガソリン車代替）などにより、EV等の効果をアピールすることが可能であるとの議論が行われた。
- ・ また、具体的には、場所ごとに以下のような活動案が議論されており、第4回WGに向けて、関連主体の意向確認や法制度面での制約要因の確認などを分担して進めているところである。

【現時点での活動案】

場所		特徴・確認事項	取組案
伊勢市駅前	新施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月供用開始予定。 ・ 12月議会で審議。 ・ 土地所有：JR、管理：伊勢市 ・ 1階：貸自転車、2階：休憩所 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「屋内展示・活動」（取組A） ・ 情報提供（動画紹介、QRコード等による伊勢神宮の紹介） ・ 充電サービス（携帯電話、スマホ） ・ 照明 ・ （食事・お茶提供） ・ 既存活動団体等と連携
	オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月頃に駅前整備完了予定 ・ JRが土地所有 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お茶・食事（おむすび・団子）提供」（取組B） ・ 地元産の米を利用 ・ 既存活動団体等と連携
参道内	路上（屋台）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在も日曜午前に屋台を提供 ・ 車道のため県の占有許可が必要 	○ 「お茶・食事（おむすび・団子）提供」（取組B）に同じ
	店舗内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菊一など ・ 既に、地域活動や観光交流活動の拠点として活躍 	○ 「屋内展示・活動」（取組A）に同じ
外宮前	オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等への利用が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「EV等の展示・貸出」（取組C） ・ EV等の紹介、超小型モビリティの貸出 ・ 貸出の検討は、WGアに委ねる。
	朝市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週土日に開催（真夏を除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝市との連携」（取組D） ・ 朝市での電源利用 ・ EV等の紹介・貸出

◆WGでの課題

<他WGとの調整>

- 本WGでは、EV等のカーシェアリング事業等については、検討対象から除外することとしたが、外宮前のスペースはEV等のレンタカー事業の起点としての役割を果たし得ると考えている。一方、EV等のレンタカー事業等については観光WGの検討対象であり、外宮前スペースが観光WGの検討対象となるレンタカー事業等のステーション機能を担う可能性も想定される。観光WGにおいて、それらの事業の実施について議論がなされた場合には、外宮前の位置付けや役割等の検討内容について情報を共有するとともに、当WGとの連携方法について相談をいただきたい。

◆今後の課題

- 第4回WGでは、実施計画の主要項目について検討を進める予定である。(1月開催予定)